^{様式2} 輸出事業計画

※申請者名:ヨンキュウ、品目:愛媛県産水産物(真珠を除く)

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 本県主力輸出商品であるブリ、マダイの生産量は全国的に近年減少傾向。
- ●人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向
- ●愛媛県の輸出は増加傾向(R2はコロナでダウン)

(背景)輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等

(追い風) 日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等 (実態) 北米向けブリ伸長、韓国向け活魚伸長

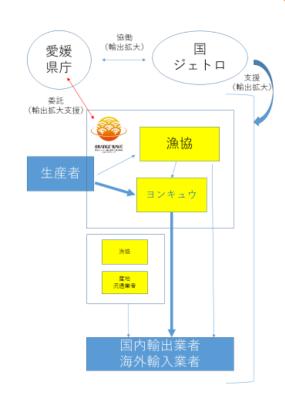
【課題】

- ●輸出 ~さらなる輸出拡大に向けて~
- ・HACCP施設の維持拡大
- ·輸出障壁(放射性物質検査等)の撤廃
- ·体制整備(FSMA対応、Green list取得等)
- ・アイテム確保(漁業認証、戦略魚種)
- ・認知度向上(愛育フィッシュ、EHIME JAPAN)
- ・ビハインド(価格等)
- ・マーケットニーズの把握



2. 輸出事業計画の取組内容

項目	対応策		
HACCP輸出	・HACCP施設整備、改修 ・輸出拡大に必要な機器の整備等		
輸出障壁	・輸出証明書の迅速な申請体制の 整備		
体制整備	・HACCPプラン実行、FSMA対応 ・グリーンリスト取得		
漁業認証	・認証取得及び維持 ・現地ニーズの把握		
戦略商品	・愛育フィッシュ(ブリ、マダイ)		
認知度	・県プロモーション活動への参加 ・国(ジェトロ)と一体となったプロ モーション活動への参加		
ビハインド	・多量多品種の強みを生かした輸出・共同集荷輸送の検討		
マーケットニー ズの把握	・展示会等への参加 ・海外バイヤーやシェフ等の招聘等		



オレンジウェーブを軸とした官民一体となった輸出拡大対策に取組むこととし、国輸出戦略による拡大策と協働で愛育フィッシュの輸出を伸 長。国輸出関連事業についても積極的に活用。

様式2 輸出事業計画

※申請者名:ヨンキュウ、品目:愛媛県産水産物(真珠を除く)

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

- ①ニーズに応じた商品展開
- ②プロモーションの選択、実行
- ③問題点のブラッシュアップ
 - 4. 改善
- ①マーケットニーズの整理
- ②需要量の把握
- ③アイテム(認証・魚種)の反響把握
- ④新ジャンルの反響把握
- ⑤輸出実績の把握

3. 評価



- **①マーケットニーズ**
- ②環境整備(ソフト・ハード)
- ③アイテム (認証、魚種)
- 4エンドユーザー拡大

1. 計画

- ①プロモーション・リサーチ
- ②環境整備支援(ソフト・ハード)
- ③認証取得支援·開発研究
- ④現地系高級レストラン等開拓
- ⑤輸出実行

2. 実行

4. 輸出目標

愛媛県産ぶり	現状(令和2年度)	目標(令和7年度)	増減
輸出量	70 t	170 t	+100 t
輸出先国	米国等	米国等	-
愛媛県産まだい	現状(令和2年度)	目標(令和7年度)	増減
輸出量	400 t	450 t	+50 t
輸出先国	韓国等	韓国、米国等	米国等
愛媛県産その他	現状(令和2年度)	目標(令和7年度)	増減
輸出量	-	若干	若干
輸出先国	-	米国等	米国等